

つい立ち寄りたくなるようなカフェテリアを作り上げるには

C1240026 会田理久哉

今回、学外の人に羨ましいと思われるようなカフェテリアを提案する。それに伴い、「つい立ち寄りたくなるようなカフェテリアを作り上げるには」というテーマでアプローチしていく。

まず、カフェテリアを利用する方を対象に、カフェテリアに対して感じている事を調査した。調査方法として、13時、15時、17時の3回に分け、カフェテリアにいる方20名にインタビューを行った。その結果、「机や床が綺麗」、「栄養バランスの良い食事ができる」などといったカフェテリアに対して良い印象の意見が多く挙がった。その一方で、「デザートやドリンクのメニューが少ない」、「昼休みに昼食をとる事以外、あまり利用しようとは思わない」、「流れているのが今どきの音楽ではなく、ラジオであることが残念」などといった声も少なくはなかった。清潔な環境や、栄養バランスのとれた食事に関しては、私も同じ意見を持っていた。しかし、メニューの豊富さや音楽に関しては、私にはない考えだった。これらの意見をもとに、どのようなカフェテリアにするべきかを考えた。

インタビューの結果から、昼休み以外にも立ち寄りやすく、居心地の良い空間をどのようにつくりていくか、ということが課題として挙げられる。これらの課題をふまえ、ニーズをまとめると、カフェテリア内で音楽をかけ、デザートを中心にメニューを増やし、立ち寄りやすくして欲しい、というものである。カフェテリアは、学生の他、先生方や一般の方にも利用される。音楽をかける際、様々な年代の方がいらっしゃる中で、流す音楽のセレクトや、その方法も重要となる。また、音楽と同様に、デザート等のセレクトやその方法も同じく重要なとなる。よって、カフェテリアを利用する方々の様々なニーズに対し、いかに沢山応える事ができるかがプロトタイプを作成する上で大切になる。

これらをふまえ、カフェテリアを食事や休憩で利用する人向けに、更に立ち寄りたくなるような、みんなで作り上げる居心地の良い空間、というコンセプトとした。このコンセプトを満たすためのプロダクトとして、主に4つある。1つ目は、カフェテリアで流す音楽を、日替わりでリクエスト曲にすることである。カフェテリア内に意見箱を設置し、リクエスト曲を募集する。その曲を一曲ずつ流し、リクエスト曲をすべて流し終わったら、リクエストの多い順番にもう一度流していく。そうすることで、沢山の方のリクエストに応える事が出来る。2つ目は、デザートやドリンクの種類を増やすことである。そうすることで、デザートを中心にメニューを増やしてほしいというニーズに応える事が出来る。3つ目は、カフェテリアの食事を提供するカウンターの一角を、カフェエリアにすることである。今あるスペースを活用することで、より現実的な案となる。また、一つ目のプロダクトを実装する際、デザートやドリンクを提供するスペースを作る必要があるため、このプロダクトも必要となる。4つ目は、カフェエリアに意見箱を設置し、カフェテリアを利用する方々に新メニューをリクエストしてもらうことである。「フェティアを利用する方々の様々なニーズに対し、いかに沢山応える事ができるかがプロトタイプを作成する上で大切になる。」と記したが、

それらを叶えるために、リクエストの中から、学生から1品、先生方と一般の方から1品を、食事を提供してくださっている方々で毎月1回選考し、実装する。尚、現在あるデザートやドリンクのメニューは常設する。これにより、年代を問わず、様々な方の要望に応える事が出来る。また、自分が提案したメニューが採用された方には、そのメニューの無料交換券3枚程度を贈呈することで、沢山の方にリクエストをしていただくことが期待でき、活発にみんなでカフェテリアを作り上げていくことが可能になる。

これらのプロダクトを実装するうえで期待される効果は、主に3つある。一つ目は、デザートやドリンクのメニューが増えることで、昼食や夕食の時間以外でも食事を気軽に楽しめる事である。2つ目は、リクエストした音楽が流れることで、カフェに行く楽しみが1つ増える事である。3つ目は、学生や先生、一般の方が一緒にメニューを考えることで、より多くの方のニーズに応えることが可能になり、より一層充実した空間をみんなで作り上げ事が出来る。私が提案した4つのプロダクトを実施すれば、「カフェテリアを食事や休憩で利用する人向けに、更に立ち寄りたくなるような、みんなで作り上げる居心地の良い空間」というコンセプトを叶える事ができ、前記した3つの効果が期待できるだろう。